

こんにちは 飯島和子です



富士見1-5-3-406

(3222)7783 Eメールで kazuko4685@yahoo.co.jp

108 '10.4.12

第一回定例会 (2/25~3/25)

区が生み出している「雇用の不安」を質し、ふたつの「待機者ゼロ」と「医療費無料化」を求めました

医療費窓口無料化

子どもが育つのに、医療費が学費と同様、無料か低額であれば安心です。日本は保険料、窓口負担も大きく、特に高齢者に受診抑制がふえています。

しかし、長野県原村など、一八才までと六五才以上、障害者の医療費無料化の自治体もあります。

一六才から一八才の子どものいる世帯の特定扶養控除縮小が予定されている中で、子ども医療費無料化

安心できる待機児ゼロに

子どもの安全、発達の保障があつてこそ、保護者は安心して働けますが、保育所の規制緩和は保育環境を後退させ、見過ごせません。

保育所・学童クラブの総量拡大と、保育環境向上の中で「待機児ゼロ」を求めると同時に、株式会社が運営する学童クラブの職員が、安定して働ける対策が必要なことを強調しました。

雇用不安

働く人の1/3が非正規労働者となり、雇用不安は内需を冷や込ませる原因のひとつです。

区役所のほとんどの部署で非正規雇用が常態化し、区が委託している業務に従事している民間労働者は賃金など、雇用条件が悪いことが明らかです。

特養待機者ゼロ

区内の「要介護三」以上の方は七五〇名余、特別養護老人ホーム待機者は二〇〇名を超えています。

区は施設建設の必要性を認めながらも、「居宅サービス充実」とどまっています。在宅介護に限界があることが実態です。

「特養待機者ゼロ」の方針を持つことが必要でないでしょうか。

この間、区は職員定数削減を行い、低賃金・不安定な労働者に置き換えてきました。これに続けていては、団塊世代の退職職員が増える中で、仕事の継承もできず区民サービスの低下になります。正規職員採用計画を持つことを求めました。

代表質問 (3/3)

聞いて！
聞いて！

「赤旗」号外をマシヨン集合ホストに配っただけで「国家公務員法違反」とした有罪判決は東京高裁で「表現の自由に違反」とされ、逆転「無罪判決」となりました。

元社会保険庁職員の堀越さんの休日、自宅付近での行為は、職務になんら影響はないとした、この結論までに六年余りもかかりましたが、民主主義の勝利です。

しかし、検察側は上告し、今後は最高裁で争われることとなります。

一ヶ月間のベニヤ一人の刑事が堀越さんを付け回し、私生活まで三七本のビデオに盗撮するなど、公安警察の人権侵害も問題にした、良識ある判決になるよう願っています。

暗黒時代のようにさせないために。

義務教育の保護者負担の軽減を

「義務教育は無償」にも関わらず、保護者負担が多いことを私は問題にしてみました。

区もやつとこの調査に踏み出し、小・中学校の給食費や遠足代などが都平均よりかなり高額であり、「今後、負担軽減に努力す

区立中学・中等教育学校図書館に司書派遣を

区立小学校には司書が週二回派遣され、司書資格のある先生方と協力して学校図書館整備が進んでいます。

思春期に「読書」から得るものは計りしれません。生徒の成長、学

べき」と述べました。

「学校指定のものが高すぎる」という声もあります。「保護者負担の軽減」のためには、多くの自治体のように、給食食材や教材費を補助することも必要です。

習補助のために区立中学・中等教育学校への司書派遣を求めました。



「費用弁償に異議あり」の声

議員が委員会に出席すると「日額旅費」として5000円の費用弁償が支給されます。新年度予算では1500万円計上されました。区民から「委員会出席は議員の仕事。報酬を受け取った上に、『交通費』の5000円は納得できない」という声があがるのも当然です。

今定例会に「費用弁償は廃止か実費支給に」という趣旨の陳情が3人の方から提出されましたが、残念ながら未審議のままです。税金の使い方をチェックする区議会として真摯に受け止めるべきだと思います。

党区議団は下記意見書提出を提案しましたが、賛成少数で否決されました。

「築地市場の豊洲への移転計画を中止し、現在地で再整備すること」「米軍普天間基地を無条件返還すること」

まちの声

築地市場移転、民主党は曖昧で残念

築地移転の理由は狭いことと老朽化だったが、今は前ほど混んでいない。立て替えが必要なら1/3ずつやるなど、方法はあるはず。

移転すれば負担金は高くなり、商品も値上がりする。今も仲卸の廃業が増えているのにもっと増える。豊洲は今の三倍近く時間がかかるから行けないよ。民主党が反対してくれると期待したのに、予算に賛成してしまい残念。
(神保町二・Aさん)

介護の安心は特養があつてこそ家で夫を介護をしているけれど、いつまで頑張れるかわかりません。私もトシですから。いよいよの時に、すぐ入れる特養がないことが一番不安よ。「在宅介護」のメニューの充実もいけれど、それで解決できると思うのは、介護の経験のない人じゃないかしら。
(三崎町三・Bさん)

知らないうちに開発地区に？

「再開発の網がかけられ、知った時には水面下で計画ができていた」という話を聞いたが、駅に近くて静かな私の所も、いつそうなるか恐ろしい。「効率」「採算」のまちづくりより、今のうちに穏やかに生活させてほしい。
(富士見二・Cさん)

みなさんのご意見をお寄せください

